

【ウィークリー・ウパニシャド サマリー 1月分】

1回目～3回目（2021年1月13日, 20日, 27日）

1月13日 ウパニシャドの背景

ウパニシャド勉強会の背景につて、以前は大阪、インド大使館などで、講義をしていましたが、諸条件により、講義が行うことが難しくなり、zoom 配信で協会は、今まで会場で行っていた各講義を始めました。そして、日本ヴェーダーンタ協会の伝統として、朝食の後の色々な霊性の本を輪読しています。時々、ウパニシャドの輪読の時には、説明をしていましたが、zoom の普及により、朝のウパニシャドの勉強も zoom によって可能になったことと、信者からの声により毎週水曜日に zoom による講義を始めることとしました。

ウパニシャドとはインドの聖典の一つの名前です。ウパニシャドの源とはなんのでしょうか？
ヴェーダ (veda) の聖典です。ヴェーダとは、真理、最高の知識という意味です。ヒンズー教、キリスト教もイスラム教もすべて表現や言葉が違いますが、真理は同じです。インドではサンスクリット語（神の言葉）で最高の知識、絶対の真理を説明しています。

ヴェーダは真理について書かれた世界最古の聖典ですので、非常に難解ですから、ヴィヤーサによって、一つのヴェーダを整理して、リグ・ヴェーダ（賛歌）、サーマ・ヴェーダ（歌詠）、ヤジュル・ヴェーダ（祭詞）、アタルヴァ・ヴェーダ（儀式典礼）として、四つに分けられました。その四つのヴェーダの中をまた、サムヒター、ブラーマナ、アーランヤカ、ウパニシャドとして、四つに分けられました。

ヴェーダの聖典の中には、各種の儀式（ホーマー）によって神々を喜ばせ、最高の肉体的、感覚的、心的、知的な喜びを願い、神々にその願いを叶えて貰う方法が書かれています。それをカルマカーンダといいます。しかしそれらの肉体的、感覚的な欲望が叶っても、その願いは、有限でいつかはその喜びがなくなります。不死を願い、死後天国に行き、苦しみのない世界も願いましたが、天国も有限で永遠ではないという事を徐々に理解しました。そして、賢者たちは有限なものとして永遠なものを深く識別して、永遠な至福や永遠の知識や不死が欲しいなら、その一時的な欲望を超越して、永遠にならないと手に入らないという事を知りました。

一時的なものをどのように超越するか、超越した経験がどのようなものであるか、その必要性を理解すると、私たちも永遠になり、そのとき永遠な至福や永遠の知識や永遠の存在を得ることができます。ヴェーダのその知識の部分が書かれているのがウパニシャドです。これをギヤーナカンドアと言います。

ヴェーダーンタ (vedanta) とは、ヴェーダ (veda) の最後アンタ (anta) の部分という意味です。ですからヴェーダーンタの基礎はウパニシャドです。そして、アンタのもう一つの意味はヴェーダのエッセンスという意味です。ヴェーダのエッセンスはウパニシャドの中に入っています。

1月20日 ウパニシャドの意味

ウパニシャドの中にすべての真理が入っています。ウパニシャドとヴェーダーンタは、何がちがうでしょう。どちらも真理について語っていますが、ヴェーダーンタは哲学ですから体系的です。ウパニシャドの中には、例えや物語などが入っているので、楽しく真理を学ぶことができます。

私たちの粗大と精妙な身体は五つ（空、水、火、風、土）の要素（プラクリティ）の混合によって、出来ています。その要素は粗大な状態、精妙な状態、原因の状態として存在しています。粗大な状態がこの世界であり、精妙な状態が天国であり、原因が要素です。

しかしプラクリティは、どちらの状態でも、生まれ、成長し、維持し、衰え、亡くなり、元の要素にもどります。すべて有限で、時間、空間に縛られています。それによって私たちは不死になることはできません。私たちの楽しみも、どのレベルでも限度があり、最高の至福を得ることができません。ですからその状態を超越して、最高の知識、最高の至福、不死を得る必要があります。絶対の真理（悟り）とは、私たちの知識すべてを超越したものです。

ブラフマンの定義とは、一番大きなものより大きく、一番小さなものより小さいです。限定された心ではイメージすることが不可能な存在がブラフマンです。そのブラフマンを知ること、ブラフマンについての知識が最高の知識です、その絶対の真理を知ること、不死を得ることができます。

ウパニシャドの言葉の意味につて、言葉を分解すると、ウパ (upa) ニ (ni) シャド (Sad) クヴィップ (Kvip) となります。（最後の Kvip はあらかしませんが）

ウパ (upa) とは、先生の近くと真理の近くという意味があります。先生の近くとは、一緒に生活して勉強する。真理の近くとは、いつも真理（ブラフマン）について考えるという意味があります。

ニ (ni) とは真理について疑いがないという意味です。

シャド (Sad) は、三つの意味があります。束縛（無知）を緩める、束縛（無知）が消える。真理（ブラフマン）の知識に導く。

キュヴィップ (Kvip) とはそれが継続するという意味です。

まとめると、ウパニシャドとは、真理の近く、先生の近くに行き真理を学ぶと束縛（無知）を緩め束縛（無知）を取り除き、真理の知識に導き、悟りに至る状態が継続するという意味になります。

1月27日 真理を探究する方法

真理を探究する方法につて、私たちは、普通物質的なものを探究するとき、感覚と知性により、科学的な道具を使い探求します。しかし、真理については、そのような道具で理解することは出来ません。感覚や認識や知性には限度があります。また自惚れ、エゴなどによって限定されています。有限な道具で、永遠、無限なものを探究することはできません。

学者は、名声欲など、心が汚れていても頭脳が明晰であればかまいませんが、お坊さんや求道者の場合は、心の純粋さが大切です。なぜなら心が汚いと真理について理解できません。きれいな心ときれいな知性が真理を見いだす道具になります。

心のメガネが情欲、貪欲、怒り、嫉妬、怠惰、無知などの、タマスやラジャスの性質に覆われて、汚れていると真理を探究することは出来ません。また、真理や神についての興味や勉強していない人（宗教音痴）に、真理を説明しても理解できません。ですから、真理を勉強したいなら、まず、最初に心と知性をきれいにすることが大切です。